

沖縄県平和祈念資料館 住民の見た沖縄戦証言
 (多言語ブルーレイディスク70名収録)[2枚1組(セット)で貸出]

	氏名	タイトル
1	安里 善好	『マラリアで母を亡くし、戦争孤児に』
2	伊良皆 ハル	『空襲が来たら病人担いで壕へ』
3	横田 チヨ子	『父が最後に、どんなことがあっても沖縄に帰れよ』
4	翁長 澄子	『壕の中の地獄』
5	嘉味田 朝俊	『台湾第4部隊での体験』
6	漢那 憲昌	『箱爆雷を抱いて特攻の訓練』
7	吉浜 朝徳	『護郷隊へ入隊』
8	玉城 キク	『伊江島の戦場で』
9	玉那覇 香代子	『家族とはぐれた避難の道々を沢山の人達に助けられて』
10	金城 重明	『集団自決から生き残って』
11	高良 健二	『スパイ容疑の恐怖』
12	砂川 昌栄	『満洲引き揚げ途上で…』
13	上運天 賢盛	『手榴弾4個渡されて斬り込みに行く寸前に』
14	上洲 幸子	『集団自決に反発し生き残る』
15	森山 紹一	『悔やまれる弟の死』
16	西平 幸子	『黒焦げの両親をあとに子どもだけで逃避行』
17	大見謝 英子	『第一高等女学校合格の喜びが…』
18	大城 勲	『「カーヤマ」壕での「集団自決」』
19	大城 由安	『軍資金を爆弾穴に埋めた』
20	大湾 近常	『家族を失った子どもの戦後』
21	仲本 政子	『全部連れて行かれた、スパイだと言って』
22	譜久山 ハル	『青酸カリの注射を命じられる』
23	本永 昌健	『久米島に上陸した米軍より日本軍が怖かった』
24	又吉 文	『ひたすら防空壕での生活』
25	安里 成光	『県庁職員として砲弾の中を伝令』
26	喜屋武 米子	『目の前で父が即死』
27	宮城 巳知子	『瑞泉看護隊がみたナゲーラ壕での地獄図』
28	宮里 キヨ	『フィリピンの山中での逃避行』
29	高安 六郎	『台湾の人に助けられて』
30	上原 美智子	『盗まれた握り飯』
31	川崎 正剛	『スパイ容疑で処刑された女性』
32	大城 藤六	『体の中に残っている傷痕』
33	仲間 慧	『台湾で陸軍中野学校の養成所で教育を受ける』
34	長嶺 健一	『10月10日の空襲』
35	比嘉 誠春	『戦争体験記 石部隊有線通信隊』
36	比嘉 茂子	『戦場での傷を抱えて生きる』
37	豊里 隆夫	『伊江島での戦争』
38	与儀 清治	『日本人を後ろから撃つ日本軍』
39	吉嶺 全一	『死体への感覚も麻痺』
40	東江 康治	『少年兵として参加した戦争』
41	石川 栄喜	『平和を守るには、行動すること。～首里から摩文仁での戦場体験を通して～』
42	玉城 秀昭	『読谷から北部への避難、乏しい物資。戦争はどっちも傷つく。』
43	堀川 澄子	『対馬丸に搭乗して』
44	当真 洋一	『フィリピンダバオ山中での避難体験』
45	仲村 実男	『国頭、大宜味での戦争体験』
46	大田 登美子	『浦添からさらに南部地域への避難』
47	仲村渠 トミ	『首里の自然壕での避難』
48	喜舎場 宗正	『艦砲射撃の中家族で防空壕に避難し、終戦後は孤児院で生活』
49	山田 芳男	『軍国少年の南部への逃避行、捕虜となり収容所へ』
50	與座 章健	『鉄血勤皇隊。米軍の砲撃で即死した友。』
51	比嘉 定子	『名護の旭川集落から羽地への避難』
52	玉城 深福	『ブーゲンビルでの戦い。亡くなった戦友を葬る力も無い、残酷な状況。』
53	瑞慶山 良光	『学徒が経験した伊江島・本島北部での戦争』
54	伊波 秀雄	『サイパンでの戦争。生き地獄。生きた人間のやることじゃない。』

55	内間 善考	『父と母を亡くした少年。』
56	名幸 芳生	『苦しかった戦争体験と奇跡的な母との再会』
57	神里 富夫	沖縄本島南部での戦争体験』
58	伊波 文子	『金武の壕での体験と戦後の暮らし』
59	島袋 文雄	『軍国少年が経験した沖縄戦』
60	神谷 洋子	『独りぼっちで戦場を逃げ回り、孤児院でも苦勞した少女』
61	下地 隆	『宮古島新城集落での避難体験』
62	根間 昌明	『戦時中の宮古、狩俣集落の様子』
63	藤本 栄一	『大阪での戦争体験』
64	伊志嶺 徹	『台湾への疎開』
65	仲村 智弘	『台湾での戦争体験 琉球官兵残留部隊として』
66	中村 昌繁	『久米島仲地での戦争体験』
67	新城 信高	『久米島、兼城での戦争体験』
68	山城 昌盛	『少年が経験した久米島での戦争』
69	仲宗根 政徳	『軍属として体験した久米島、伊江島での戦争』
70	平田 政次郎	『南方での戦争体験』